

No.9 歴史・文化及びスポーツの振興〈歴史文化・スポーツ〉 (人権・社会教育課)

令和5年度までにめざす姿

- ①里地里山に学びながら、郷土の歴史や文化を保存・継承し、町づくりや地域づくり、ふるさとの誇りづくりに活かします。
- ②スポーツ環境の整備を図るとともに、スポーツを通じた仲間づくり、健康づくりを推進します。

令和2年度にめざした成果

- ①様々な文化財の状況把握をし、保護・保存を適正に行います。文化財保護・管理団体の活動を支援します。
- ②総合型地域スポーツクラブを核とする社会体育推進体制の整備促進を図ります。

令和2年度にめざした活動

- ①地域の文化財を知ってただく取組や学校でのふるさと教育の取組を継続して行います。文化財管理団体への管理補助金の見直しを行います。
- ②理事会等を開催し、検討を行います。

令和2年度の成果

- ①文化財保護審議会で管理補助金の見直し方針を決めることができました。
- ②理事会での検討により、体育協会の新たな組織体制（総合型地域スポーツクラブへ移行）について合意形成が図りました。

令和2年度の問題

- ①コロナ禍でイベントが実施できず、文化財に触れていただく機会がありませんでした。文化財資料の総量が確認できず、収納スペースを確保できていません。
- ②体育協会移行後の具体的なジュニアチームや地域との連携などについて、具体的な方策ができていません。

令和3年度以降の方策

(1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

- ①文化財保護・保存に関わる個人、団体に適切な支援を実施します。
- ②各部に意向や疑問点などの聞き取りを行い、総合型スポーツクラブと令和3年度からの具体的な組織体制を整備します。

(2) 解決すべき問題への方策

- ①文化財資料の整理と収蔵スペースの見直しを行います。
- ②各団体等の活動状況を再度把握します。

(3) 新たに取組む方策

- ①複合施設の里山学習コーナーを整備し、町民に身近な文化財等を知っていただく企画をします。
- ②他の町スポーツ振興事業等を段階的に見直す検討を行います。